

# UBS中国A株ファンド (年1回決算型)

愛称：桃源郷

\*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
設定日	2009年9月18日	
信託期間	2009年9月18日から2029年9月25日	
運用方針	「UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)」および国内投資信託であるUBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け) を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を図ることを目標とします。	
主な投資対象	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	上海証券取引所および深セン証券取引所のA株を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指します。
	UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	UBS短期円金利プラス・マザーファンド受益証券を通じて、または直接わが国のCP (コマーシャル・ペーパー)、政府短期証券、コール市場等の短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行うことにより、短期円金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。
主な投資制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③株式への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。 ⑤外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時 (原則として毎年9月25日、休業日の場合は翌営業日。) に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益 (評価損益を含みます。) 等の全額とします。 ②収益分配金額は、分配対象額の範囲で、委託会社が市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益の運用については特に制限を定めず、運用の基本方針に基づき元本部分と同一の運用を行います。	

第14期 運用報告書 (全体版)  
決算日 2023年9月25日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBS中国A株ファンド (年1回決算型)」は、去る9月25日に第14期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号  
Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部  
03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2023. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
			騰	落		
10期 (2019年9月25日)	円 43,616	円 0		% 20.9	% 93.7	百万円 9,978
11期 (2020年9月25日)	53,715	0		23.2	93.5	7,952
12期 (2021年9月27日)	55,772	0		3.8	94.3	23,168
13期 (2022年9月26日)	52,530	0	△	5.8	99.2	15,550
14期 (2023年9月25日)	55,170	0		5.0	92.7	11,767

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数(参考指数)はありません。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰	落	
(期 首) 2022年 9月26日	円 52,530		% -	% 99.2
9月末	52,253	△	0.5	97.0
10月末	47,097	△	10.3	98.5
11月末	51,171	△	2.6	98.9
12月末	52,105	△	0.8	99.4
2023年 1月末	57,323		9.1	99.1
2月末	55,403		5.5	99.2
3月末	53,388		1.6	97.6
4月末	53,684		2.2	99.1
5月末	52,636		0.2	99.1
6月末	53,649		2.1	99.6
7月末	56,038		6.7	98.9
8月末	53,944		2.7	98.7
(期 末) 2023年 9月25日	55,170		5.0	92.7

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

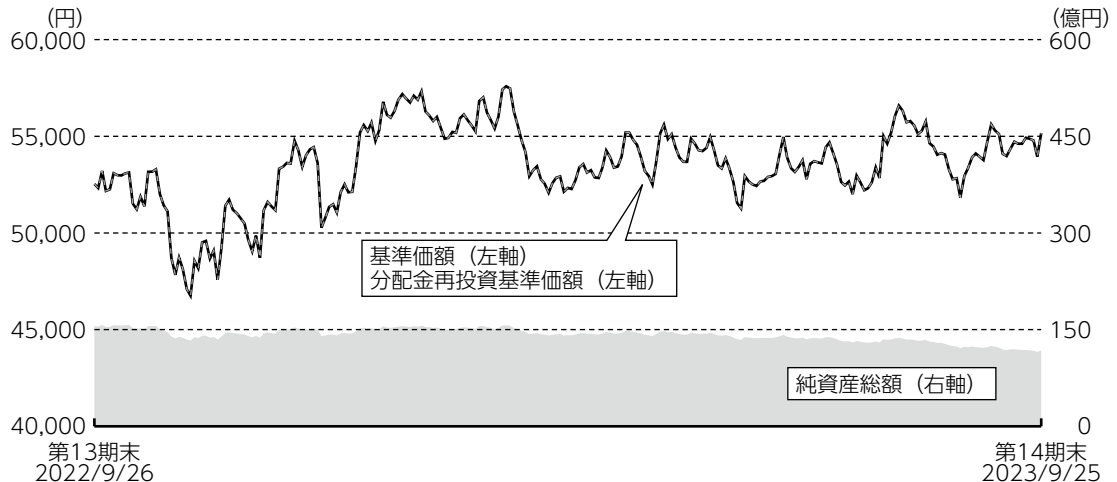
(注3) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数(参考指数)はありません。

(注4) 投資信託証券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。

## 運用経過

## 基準価額等の推移について

(2022年9月26日～2023年9月25日)



第14期首：52,530円

第14期末：55,170円（既払分配金 0円）

騰落率： 5.0%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

当期の基準価額は、期首比で2,640円値上がりしました。なお基準価額の騰落率は+5.0%となりました。

## 基準価額の主な変動要因

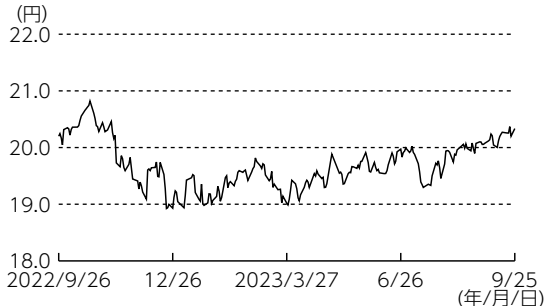
当期の基準価額は、中国株式市場が下落した環境下で、実質組入株式における銘柄選択が奏功したことや、為替変動（円安・人民元高）などのプラス要因が、信託報酬などのマイナス要因を上回ったことにより、値上がりしました。

## 投資環境について

当期の中国株式市場は下落しました。

期の序盤、中国政府・当局の景気浮揚策への期待などが株価の下支えとなったものの、2022年10月に発足した中国共産党の新最高指導部の政策運営をめぐる不透明感などを嫌気して、株価は下落しました。その後、当局が低迷している不動産セクターの支援策を発表したことなどを材料に株価は反発に転じ、12月以降も「ゼロコロナ」政策の解除による経済活動の再開と景気回復期待などを支えに、上げ幅を拡大しました。しかし2023年2月に入り、中国の気球を米国が撃墜したことを受けて両国間の緊張が高まったほか、米利上げ長期化懸念などから市場で投資家心理が悪化し、株価は再び軟調な展開となりました。期の後半、2023年1－3月期の中国GDP成長率の上振れや、中国人民銀行（中央銀行）による緩和的な金融政策などが支援材料となり、株価は一時持ち直す局面もありました。しかし、国内経済の回復の遅れや半導体をめぐる米中対立の深刻化、大手不動産開発会社の経営危機による信用不安の広がりなどが市場の重石となり、中国株式市場は下落基調で推移しました。結果、前期末を下回る水準で期を終えました。

人民元／円レートの推移



## ポートフォリオについて

### 当ファンドのポートフォリオについて

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）およびUBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）を主要投資対象とし、期を通じてUBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）への投資割合は90%以上を維持しました。

### UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）のポートフォリオについて

上海証券取引所および深セン証券取引所の中国A株のうち、各産業セクターを代表する銘柄を中心に投資しました。

#### ●期中の主な動き

##### (1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

「ゼロコロナ」政策の撤廃を好感し、2022年末から2023年初めにかけて株価が急騰したものの、その後の中国経済の回復が力強さを欠くことに加えて、不動産業界での信用問題の再燃などから、本土株式市場が下落基調をたどる中、一般消費財・サービスでは大手家電メーカーの美的集団（ミデア・グループ）、ヘルスケアでは、漢方薬メーカーの雲南白薬集団（ユンナン・バイヤオ・グループ）や、中国の伝統的生薬の阿膠（アキョウ：ゼラチンの一種）に強みを持つ東阿阿膠（ドン・ウーウー・ジャオ）など、業界内で優位な立ち位置にあり、業績見通しと比べて割安度が高いと考える銘柄のウェイトを引き上げることで、それぞれセクターウェイトを引き上げました。

##### (2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

一方、昨年末以降の株価上昇局面をとらえて、情報技術では、電子機器受託製造サービス（EMS）大手で、米アップルのワイヤレスイヤホンの「AirPods」や、スマートフォンの「iPhone」などの生産も受託している立訊精密工業（ラックスシェア・プレジジョン・インダストリー）を全売却したほか、素材では、自動車用部品や衣類、断熱材など幅広い用途を持つMDI（ポリウレタンの一種）で世界シェア首位の万華化学集団（ワンファ・ケミカル・グループ）の売却を進め、それぞれセクターウェイトを引き下げました。

※業種はGICS分類に準拠しています。

### UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

マザーファンドへの投資を通じて、主としてわが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を実質的な投資対象とし、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、無利子金融商品やコール・ローン等での運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

## 分配金について

当期は、基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配を行わないこととしました。分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項目	第14期
	2022年9月27日~2023年9月25日
当期分配金	-円
(対基準価額比率)	( - %)
当期の収益	-円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	45,169円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### 投資環境の見通し

中国政府は、同国経済が直面している困難な問題を認識しているため、景気のコトコト入れに舵を切る動きを明確に示しており、政策における緩和の加速化が見られます。これまでに講じられた金融緩和は比較的小規模でしたが、最近の政府・当局による金融・財政面での積極的かつ、様々な取り組みは、不動産市場と経済を安定させるという上層部の決意の表れであり、2023年序盤に政府が設定した2023年の経済成長率目標である「5%前後」の達成に向けた一助になると思われます。これらの取り組みの効果が表れるまでにはある程度の時間を要するものの、今後投資家心理の改善のスピードは早まることが予想されます。

同国では、消費者および企業の信頼感の低下が経済成長の足かせになっていると捉えています。多くの消費者や企業は現金を手元に蓄え、余剰資金を銀行口座に眠らせており、一部の住宅所有者は資金を消費や投資に充てるよりも住宅ローンを繰り上げ返済することを選択しています。長期的な視点では、今後市場の焦点が経済成長の動向に回帰して、政府・当局が経済改革と市場の開放を粘り強く実行し、信頼感を回復することが重要であると考えます。一方、中国の規制には周期的な傾向があることに留意が必要です。同国の規制当局は、経済、政治、社会の安定を維持するために、今後も政策の微調整を継続的に行う可能性があります。

中国株式市場はアクティブ運用の観点で、引き続き大きな投資機会を有していると考えています。当ファンドでは、競争優位性があり、質が高いと判断する企業を中心に保有しています。このため、長期的にみると市場参加者の関心が企業のファンダメンタルズとキャッシュフロー創出力に回帰すれば、こうした企業への投資が当ファンドに良好なリターンをもたらすものと考えております。

### 当ファンドの今後の運用方針

UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class) の投資比率を高位に維持する方針です。

### UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class) の今後の運用方針

当ファンドは、銘柄選択を重視しており、長期的な勝ち組となり得る質の高い企業を発掘し、銘柄を厳選して投資を行います。今後もファンダメンタルズが良好な優良銘柄に割安な水準で投資できる機会をうかがいながら、運用を続けてまいります。

### UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針

マザーファンドへの投資を通じて、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2022/9/27~2023/9/25		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	660円	1.240%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は53,224円です。
（投信会社）	（175）	（0.329）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（467）	（0.878）	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 18）	（0.033）	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	12	0.023	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 4）	（0.008）	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	（ 8）	（0.015）	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	（ 0）	（0.000）	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	672	1.263	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

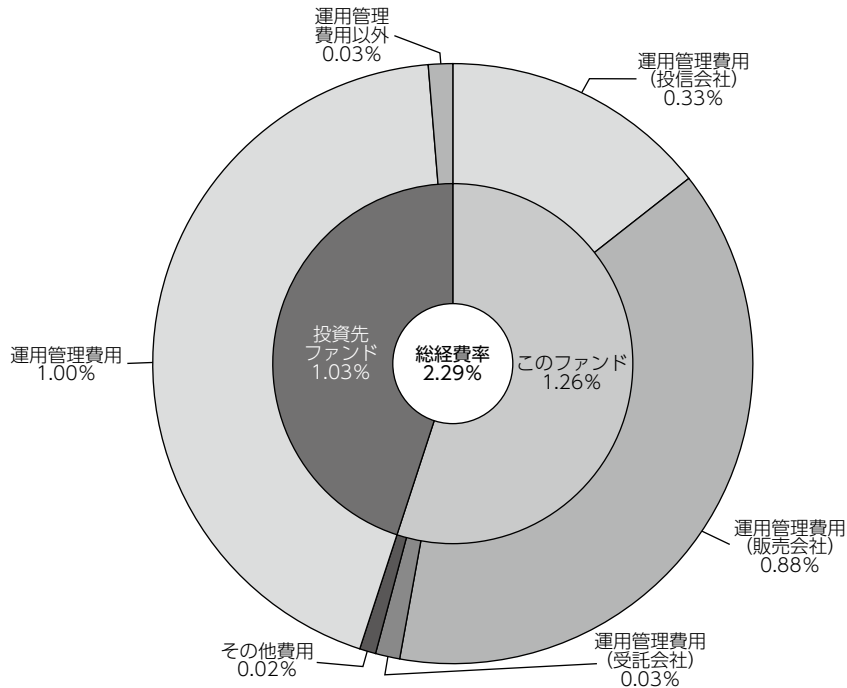
(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## （参考情報） 総経費率



総経費率 (①+②+③)	2.29%
①このファンドの費用の比率	1.26%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.29%です。

**期中の売買及び取引の状況** (自 2022年9月27日 至 2023年9月25日)**投資信託証券**

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□ 7,321	千円 497,000	□ 90,880	千円 5,811,000

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

**主要な売買銘柄** (自 2022年9月27日 至 2023年9月25日)**投資信託証券**

銘 柄	買 付		銘 柄	売 付	
	□ 数	金 額		□ 数	金 額
UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□ 7,321	千円 497,000	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□ 90,880	千円 5,811,000

(注1) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

**利害関係人等との取引状況等** (自 2022年9月27日 至 2023年9月25日)

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

**組入資産明細表** (2023年9月25日現在)**投資信託証券 (邦貨建)**

フ ァ ン ド 名	期 首	当 期		末
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	□ 30,343	□ 30,343	千円 30	% 0.0
UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	248,988	165,430	10,902,502	92.7
合 計	279,331	195,773	10,902,532	92.7

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合。

## 投資信託財産の構成

(2023年9月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 30	% 0.0
投 資 証 券	10,902,502	91.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,061,274	8.9
投 資 信 託 財 産 総 額	11,963,806	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	11,963,806,147円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	242,273,721
投資信託受益証券(評価額)	30,082
投資証券(評価額)	10,902,502,344
未 収 入 金	819,000,000
(B) 負 債	196,476,095
未 払 解 約 金	111,001,590
未 払 信 託 報 酬	83,846,901
未 払 利 息	696
そ の 他 未 払 費 用	1,626,908
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	11,767,330,052
元 本	2,132,931,426
次 期 繰 越 損 益 金	9,634,398,626
(D) 受 益 権 総 口 数	2,132,931,426口
1万口当たり基準価額(C/D)	55,170円

〈注記事項〉

期首元本額	2,960,402,897円
期中追加設定元本額	175,277,868円
期中一部解約元本額	1,002,749,339円
1口当たり純資産額	55,170円

## 損益の状況

(自2022年9月27日 至2023年9月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 222,527円
支 払 利 息	△ 222,527
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	714,294,606
売 買 損 益	860,450,161
売 買 損 益	△ 146,155,555
(C) 信 託 報 酬 等	△ 178,953,855
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	535,118,224
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 1,107,075,518
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	10,206,355,920
(配 当 等 相 当 額)	( 7,272,118,990)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 2,934,236,930)
(G) 計 (D+E+F)	9,634,398,626
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	9,634,398,626
追 加 信 託 差 損 益 金	10,206,355,920
(配 当 等 相 当 額)	( 7,272,118,990)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 2,934,236,930)
分 配 準 備 積 立 金	700,738,183
繰 越 損 益 金	△ 1,272,695,477

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(8,933,660,443円)および分配準備積立金(700,738,183円)より分配対象収益は9,634,398,626円(10,000口当たり45,169円)ですが、分配を行っておりません。

## UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（ケイマン籍外国投資信託）の運用状況

## &lt;参考情報&gt;

当ファンドは「UBS中国A株ファンド（年1回決算型）」が投資対象とする外国投資信託証券です。ご参考として掲載されている以下の包括利益計算書は、2023年2月28日現在の現地Annual Reportからの抜粋であり、現地の会計基準に基づき作成され、監査を受けたものです。なお、投資有価証券明細表は当該監査の対象外であり、未監査のものを掲載しております。また、同一銘柄でも保管形態が異なる場合には、別個に表記しています。

## 包括利益計算書

2023年2月28日に終了する会計期間  
米ドル

<b>収益</b>	
受取利息	18,819
受取配当金	4,530,424
損益を通じて公正価値で評価する金融資産に係る純利益（損失）	(38,762,114)
為替取引に係る収益（損失）	(842,603)
<b>損失合計</b>	<b>(35,055,474)</b>
<b>費用</b>	
運用管理報酬	1,502,877
保管事務費用	122,075
監査報酬	34,610
専門家費用	13,263
取引費用	268,723
その他営業費用	88,559
<b>営業費用合計</b>	<b>2,030,107</b>
<b>税引前営業利益（損失）</b>	<b>(37,085,581)</b>
配当金に係る源泉税	(454,583)
<b>税引後営業利益（損失）</b>	<b>(37,540,164)</b>
償還可能証券保有者に帰属すべき純資産増加額（減少額）	(37,540,164)

2023年2月28日現在の投資有価証券明細表 (未監査)

銘柄名	数量	簿価 (米ドル)	時価 (米ドル)
<b>株式</b>			
<b>中国元</b>			
GREE ELECTRIC APPLIANCES INC A SHS ORD CNY1	566,764	2,682,496.00	2,901,037.18
YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	1,572,536	19,870,626.22	12,894,097.24
GREE ELECTRIC APPLIANCES INC A SHS ORD CNY1	321,611	2,501,784.29	1,646,197.47
KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	43,400	13,148,911.34	11,343,389.33
BANK OF NINGBO CO LTD A SHS ORD CNY1	618,100	3,431,395.60	2,631,160.33
PING AN BANK CO LTD A SHS ORD CNY1	6,582,369	19,649,572.81	13,071,021.23
LUZHOU LAOJIAO CO LTD A SHS ORD CNY1	173,943	5,899,459.74	6,266,499.99
HANGZHOU SILAN MICROELECTRONIC ORD CNY 1	312,900	2,149,263.66	1,519,995.83
PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	266,689	2,716,783.11	1,852,380.59
WANHUA CHEMICAL GROUP CO LTD A SHS ORD CNY1	661,715	11,463,303.58	9,941,840.20
SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	124,782	721,462.25	860,063.27
PING AN BANK CO LTD A SHS ORD CNY1	345,484	756,728.05	686,049.16
SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	471,552	2,917,425.18	3,250,184.77
MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	893,857	10,546,746.30	6,757,318.82
WUXI APPTec CO LTD A SHRS ORD CNY1	281,806	5,171,338.45	3,357,598.65
MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	552,377	4,375,934.42	4,175,821.75
CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	403,157	2,035,432.17	2,167,591.97
JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	1,516,340	15,114,517.25	9,505,258.38
PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	1,760,300	20,303,712.79	12,226,771.77
HANGZHOU TIGERMED CONSULTI-A SHRS ORD NPV	200,800	3,047,572.59	3,340,975.87
INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP COMPANY LIMITED A SHARES	1,749,404	10,830,070.73	7,678,883.75
HUALAN BIOLOGICAL ENGINEERING INC A SHS ORD CNY1	740,147	5,188,620.12	2,366,755.33
ANGEL YEAST CO LTD A ORD CNY1. 000000000	841,349	6,329,937.79	4,903,039.67
JOEONE CO LTD -A SHRS ORD CNY1	1,372,733	3,632,872.21	2,265,007.47
JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	37,866	396,759.85	237,365.05
CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	2,157,465	15,515,289.47	11,599,708.80
KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	11,790	1,930,893.34	3,081,533.65
YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	33,463	346,091.49	274,381.74
<b>中国元合計</b>		<b>192,675,000.80</b>	<b>142,801,929.26</b>
<b>株式合計</b>		<b>192,675,000.80</b>	<b>142,801,929.26</b>
<b>総合計</b>		<b>192,675,000.80</b>	<b>142,801,929.26</b>

## UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

## 参考情報

当ファンドは、UBS中国A株ファンド（年1回決算型）が投資対象とする国内投資信託証券です。  
ご参考として第14期決算日（2023年1月20日）の運用状況をご報告申し上げます。

## UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	税 込 配 金	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
				比	比	
10期（2019年1月21日）	円 9,982	円 0	% △0.2	% —	% —	百万円 40
11期（2020年1月20日）	9,967	0	△0.2	—	—	40
12期（2021年1月20日）	9,953	0	△0.1	—	—	15
13期（2022年1月20日）	9,938	0	△0.2	—	—	8
14期（2023年1月20日）	9,924	0	△0.1	—	—	8

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2022年 1月20日	円 9,938	% —	% —	% —
1月末	9,938	0.0	—	—
2月末	9,937	△0.0	—	—
3月末	9,936	△0.0	—	—
4月末	9,935	△0.0	—	—
5月末	9,934	△0.0	—	—
6月末	9,932	△0.1	—	—
7月末	9,931	△0.1	—	—
8月末	9,930	△0.1	—	—
9月末	9,928	△0.1	—	—
10月末	9,927	△0.1	—	—
11月末	9,927	△0.1	—	—
12月末	9,925	△0.1	—	—
(期 末) 2023年 1月20日	9,924	△0.1	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## 分配原資の内訳（1万口当たり・税引前）

項目	第14期	
	2022年1月21日～2023年1月20日	
当期分配金	-円	
（対基準価額比率）	（-％）	
当期の収益	-円	
当期の収益以外	-円	
翌期繰越分配対象額	75円	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2022/1/21～2023/1/20		
	金額	比率	
信託報酬	4円	0.044%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,931円です。
（投信会社）	(1)	(0.011)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.001)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.032)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（その他）	(0)	(0.002)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	4	0.046	

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況（自 2022年1月21日 至 2023年1月20日）

	設		解	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	100	100	12	12

(注) 単位未満は切り捨て。

## 利害関係人等との取引状況等（自 2022年1月21日 至 2023年1月20日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

## 組入資産明細表

## 親投資信託残高

(2023年1月20日現在)

項目	期首	当期	期末
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	8,608	8,696	8,682

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

## 投資信託財産の構成

(2023年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	千円 8,682	% 99.9
コール・ローン等、その他	12	0.1
投資信託財産総額	8,694	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年1月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,694,856円
コール・ローン等	10,546
UBS短期円金利プラス・マザーファンド(評価額)	8,682,310
未 収 入 金	2,000
(B) 負 債	1,946
未 払 信 託 報 酬	1,867
そ の 他 未 払 費 用	79
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	8,692,910
元 本	8,759,458
次 期 繰 越 損 益 金	△ 66,548
(D) 受 益 権 総 口 数	8,759,458口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,924円

(注記事項)

期首元本額	8,668,768円
期中追加設定元本額	100,736円
期中一部解約元本額	10,046円
1口当たり純資産額	0.9924円

純資産総額が元本を下回っており、その差額は66,548円です。

## 損益の状況

(自2022年1月21日 至2023年1月20日)

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 8,614円
売 買 益	9
売 買 損	△ 8,623
(B) 信 託 報 酬 等	△ 3,860
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△ 12,474
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 56,436
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,362
(配 当 等 相 当 額)	( 4,972)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,610)
(F) 計 (C+D+E)	△ 66,548
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	△ 66,548
追 加 信 託 差 損 益 金	2,362
(配 当 等 相 当 額)	( 4,964)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,602)
分 配 準 備 積 立 金	60,895
繰 越 損 益 金	△129,805

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (4,964円) および分配準備積立金 (60,895円) より分配対象収益は65,859円 (10,000口当たり75円) ですが、分配を行っておりません。



## UBS短期円金利プラス・マザーファンドの運用状況

## 参考情報

当ファンドは、UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ご参考として、第14期決算日（2023年1月20日）の運用状況をご報告申し上げます。

## UBS短期円金利プラス・マザーファンド

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
			比	比	
10期（2019年1月21日）	円 10,025	% △0.1	% —	% —	百万円 40
11期（2020年1月20日）	10,014	△0.1	—	—	40
12期（2021年1月20日）	10,004	△0.1	—	—	15
13期（2022年1月20日）	9,994	△0.1	—	—	8
14期（2023年1月20日）	9,984	△0.1	—	—	8

（注1）基準価額は1万口当たり。

（注2）債券先物比率は買建比率－売建比率。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2022年 1月20日	円 9,994	% —	% —	% —
1月末	9,994	0.0	—	—
2月末	9,993	△0.0	—	—
3月末	9,992	△0.0	—	—
4月末	9,992	△0.0	—	—
5月末	9,991	△0.0	—	—
6月末	9,990	△0.0	—	—
7月末	9,989	△0.1	—	—
8月末	9,988	△0.1	—	—
9月末	9,987	△0.1	—	—
10月末	9,986	△0.1	—	—
11月末	9,986	△0.1	—	—
12月末	9,985	△0.1	—	—
(期 末) 2023年 1月20日	9,984	△0.1	—	—

（注1）基準価額は1万口当たり。

（注2）騰落率は期首比です。

（注3）債券先物比率は買建比率－売建比率。

### 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

### 期中の売買及び取引の状況（自 2022年1月21日 至 2023年1月20日）

該当事項はありません。

### 主要な売買銘柄（自 2022年1月21日 至 2023年1月20日）

該当事項はありません。

### 利害関係人等との取引状況等（自 2022年1月21日 至 2023年1月20日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

### 組入資産明細表（2023年1月20日現在）

2023年1月20日現在、有価証券等の組入はありません。

## 投資信託財産の構成

(2023年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 8,684	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	8,684	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年1月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,684,449円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	8,684,449
(B) 負 債	2,024
未 払 解 約 金	2,000
未 払 利 息	24
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	8,682,425
元 本	8,696,224
次 期 繰 越 損 益 金	△ 13,799
(D) 受 益 権 総 口 数	8,696,224口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,984円

〈注記事項〉

期首元本額	8,608,103円
期中追加設定元本額	100,141円
期中一部解約元本額	12,020円
1口当たり純資産額	0.9984円

純資産総額が元本を下回っており、その差額は13,799円です。

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	8,696,224円
------------------------------	------------

## 損益の状況

(自2022年1月21日 至2023年1月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 8,772円
支 払 利 息	△ 8,772
(B) 当 期 損 益 金(A)	△ 8,772
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 4,906
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 141
(E) 解 約 差 損 益 金	20
(F) 計 (B+C+D+E)	△ 13,799
次 期 繰 越 損 益 金(F)	△ 13,799

(注1) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。